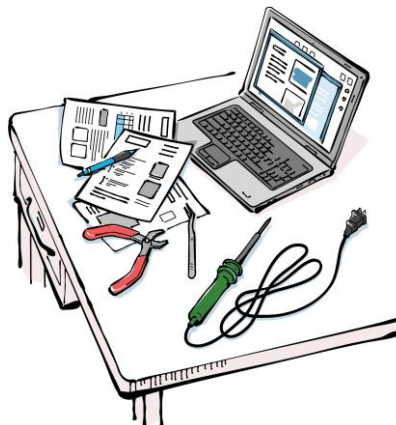


「みんなの Arduino 入門」 訂正と補足情報



株式会社リックテレコム／書籍出版 2 部

(最終情報更新日：2014 年 9 月 9 日)

1. 訂正について (※下記訂正情報は、第 1 版第 1 刷のもの)

- ・ P10 下から 3 行目
「ルネサス社が開発した」 → 「ルネサス製のマイコンモジュールを搭載した」
- ・ P40 図 2.7 上段から 3 つ目のボックス
「digitalWrite(led,HIGH);」 → 「digitalWrite(led,LOW);」
- ・ p.57 表 3.6 演算子一覧 (分類の下から 2 項目)
「>> 右シフト」 → 「<< 左シフト」
「x= [0101 1000] つまり x=0x58=88;」 → 「y= [0101 1000] つまり y=0x58=88;」
「<< 左シフト」 → 「>> 右シフト」
「x=[0001 0010]つまり x=0x12=18;」 → 「y=[0001 0010]つまり y=0x12=18;」
「x=[0110 1001]つまり x=0x69=105;」 → 「y=[0110 1001]つまり y=0x69=105;」
- ・ p.63 上から 2 行目
「以下のスケッチ 3.4」 → 「以下のスケッチ 3.5」
- ・ p.63 上から 4 行目
「常に値が初期化されて「1」」 → 「常に値が初期化されて「0」」
- ・ P175 早見表内 一番下の「シリアルモニタ画面」内のスケッチ利用まとめ
一番上段「Serial.begin(sp);」 → 「Serial.begin(sp);」
- ・ P179 索引 左段 上から 9 行目
「\n」 → 「¥n」
- ・ P179 索引 右段 上から 9 行目
「pulseln」 → 「pulseIn」

2. 補足説明について

- ・ P87 13 行目 「float vt=(float)analogRead(A0)/1023.0*5.0;」について
ここでの「1023.0」や「5.0」の表記は、整数の「1023」や「5」と記載することもできます。右辺の先頭に「(float)」を付けているので、全体が実数として取り扱われます。ただ、ここでは、全体の式を見て、ひとめで実数式として分かりやすくしたものです。

・ P92-P93 チャタリングの処理について

簡単なチャタリング処理として、タクトスイッチが押されたかどうかを判定するだけだと、以下のよう
に処理することもできます。

```
while(digitalRead(Din)==LOW); delay(300);
```

この場合、Din（デジタル入力ポート番号）に接続されたタクトスイッチが押されるまで、待機する
スケッチとなります。

3. 応用展開について

Arduino そのものは、マイコンボードということでは、さまざまなプログラミングが可能です。以下の
ようなプログラミングに挑戦してみても如何でしょうか。

1) Arduino だけでできること

- ① さまざまな計算処理（配列・マトリックス計算など）
- ② 再起呼び出しによる級数計算処理
- ③ いろいろな文字列処理など

2) 5章までの教材キットでできること

- ① 可変抵抗器とタクトスイッチ、それにスピーカを使って、自由に時刻設定できるタイマー
- ② 可変抵抗器とスピーカを使って、いろいろな音階を出力
- ③ LED とスピーカを使って、任意の文字列からモールス信号を出力
- ④ 傾斜センサとスピーカを使って、犬や猫が餌場などに来たらブザーで知らせる装置

<今後も追加していきます>

